

大阪社保協通信

メールアドレス: osakasha@poppy.ocn.ne.jp

<http://www.osaka-syahokyo.com/index.html>

第 1308 号 2025.4.30

TEL 06-6354-8662 Fax06-6357-0846

大阪社会保障推進協議会

大阪でも 訪問介護報酬切り下げ撤回・引上げを求める 地方議会意見書採択を～5月12日「意見書採択運動の ための学習交流会」に参加を呼びかけます

介護の必要な人の在宅生活を支える訪問介護（ホームヘルプサービス）は、今後ますます必要になっていく介護サービスです。ところが、昨年4月訪問介護の介護報酬が2～3%も切り下げられました。「まさかの報酬引下げ」と介護関係者には大きな衝撃と落胆の声が起きました。訪問介護事業所の4割近くが「赤字」で、訪問介護員（ホームヘルパー）は、有効求人倍率14倍以上で、募集しても応募が一切ない事態が各地で常態化しと絶望的な人手不足です。

こうした中で行われた訪問介護の報酬切り下げは、各地で深刻な事態を生み出しています。2024年の老人福祉・介護事業所の倒産・休廃業・解散の合計は784件と、いずれも過去最多となりました。とりわけ基本報酬が引き下げられた訪問介護事業所は、2024年の倒産件数が81件、休廃業と解散をあわせると529件と過去最多になっています。訪問介護事業所が1カ所もない「空白自治体」は全国で107町村に上っています。

全国で、「訪問介護の報酬引下げ撤回を」「介護報酬を引き上げよ」の世論が沸き起こり、36都道府県289の市町村議会で、請願陳情が採択され国への意見書は281本が提出されています。都道府県でも14の県議会で意見書が決議されています。また、東京都世田谷区は独自に介護事業所支援の給付金を制度化させ、新潟県村上市は訪問介護事業所の報酬削減分を市が独自に補助しホームヘルパーの移動費の助成も行うなど自治体独自の支援策も始まっています。

こうした世論と運動の高まりに対して、国は「訪問介護事業所への支援策」を打ち出しましたが、職員募集支援や研修支援など微々たるもので、報酬切り下げは撤回していません。

介護報酬改定は通常は3年に1回ですが、それを待たずに直ちに、訪問介護の報酬切り下げ撤回と改善を求める運動を大きく強化することが求められています。

大阪では、「訪問介護の報酬切り下げ撤回」などの意見書採択議会は、4市町（吹田市、摂津市、貝塚市、熊取町）にとどまり、全国的にも立ち遅れています。

5月12日の「意見書採択運動のための学習交流会」では、9割以上の自治体で意見書採択を実現した長野県社保協と全県で急速に意見書採択を進めている千葉県社保協の取り組みを学び、大阪社保協としての今後の行動も提案します。地域社保協や地方議員の皆さんをはじめ多くの方の参加を呼びかけます。

（大阪社保協介護保険対策委員長 日下部雅喜）

★国保料を引き下げるためには国庫負担増しかありません～大阪でも意見書採

択の大きな動きを作りましょう

中央社保協では前述の「訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に求める意見書」とあわせ「国民健康保険財政への国庫負担増を意見書」の採択運動を提起しています。

2018年からの国保都道府県単位化でもたらされたのは国保料(税)の際限ない高騰です。都道府県が都道府県単位の医療費の見込みをもとに市町村ごとの医療費は関係なく納付金計算をするため誤差が大きくなっていることと、被保険者減(後期高齢者医療制度の移行と被用者保険への移行)により一人あたり保険料が高くなっていること、そして保険者努力支援制度で「一般会計法定外繰入停止」が大きく評価されることなどにより令和5年度では全国市町村の9割が法定外繰入無しとなっています。そして保険料が高額になることにより収納率が下がっており、大阪では令和5年度は43自治体中37自治体が単年度赤字となっています。

そもそも国保は被保険者の保険料で賄う制度設計にはなっていません。高齢者、無職者など低所得者が多く一方で医療が必要な人が加入する医療保険なので、1961年新国保制度スタート時から国庫負担が前提となっているのです。

来年度から医療保険に財源をもとめることが理論的にもおかしい「子ども子育て支援金制度分」が加わることとなり、国保料はさらに高くなります。後期高齢者医療制度への移行、被用者保険制度への移行、子ども子育て支援制度分による国保料の高騰は全て政策的なものであり、国保被保険者の責によるものではありません。払いきれない高額国保料を払える金額にするには、国庫負担増しかありません。

運動が進んでいるこの長野県社保協・千葉県社保協の取り組みのご報告と、大阪ですでに訪問介護の意見書があがっている吹田市・摂津市・貝塚市からご報告をいただき、経験を学びながら6月・9月議会にむけての取り組みを交流するための「学習交流会」を5月12日、ハイブリッドで開催します。各地のみなさん、ぜひリアルでもオンラインでもご参加ください。レジュメ・資料は学習会当日正午までに大阪社保協ホームページにアップします。

(大阪社保協事務局長 寺内順子)

訪問介護報酬引下げ撤回・国保国庫負担増

二つの意見書採択運動のための学習交流会

□日時 5月12日(月)18時から

□リアル会場 大阪民医連

□ZOOM情報 ミーティング ID: 898 1240 0091 パスコード: 884339

□行動提起 訪問介護:日下部雅喜氏(大阪社保協介護保険対策委員長)

国保:寺内順子氏(大阪社保協事務局長)

□特別報告 長野県社保協 事務局長 藤本ようこ氏

千葉県社保協 事務局長 竹内敏昭氏

□大阪で意見書が上がっている地域～吹田市、貝塚市、摂津市 からの報告

□参加費 無料

□主催 大阪社保協



訪問介護報酬引き下げ撤回・国保国庫負担増 訪問介護・国保 二つの意見書採択運動の ための学習交流会

いま全国で「訪問介護」と「国保」の意見書採択運動が展開されており、3月末現在訪問介護289自治体、国保67自治体で国への意見書があがっています。大阪ではこれからという状況ですが、運動が進んでいる長野県社保協・千葉県社保協、大阪ですでに意見書があがっている吹田市・摂津市・貝塚市からご報告をいただき学びながら6月・9月議会にむけての取り組みを交流します。レジュメ・資料は学習会当日午前中に大阪社保協ホームページにアップします。

□□□

日時□2025年5月12日(月)18時から□

リアル会場□大阪民医連

ZOOM 情報

<https://us06web.zoom.us/j/89812400091?pwd=0nX9Jb1v4n3xPaNbz3XZAmoiRuI5Rk.1>

ミーティング ID□898-1240-0091□パスコード□884339

行動提起

訪問介護：日下部雅喜氏 (大阪社保協介護保険対策委員長)

国保：寺内順子氏 (大阪社保協事務局長)

特別報告

長野県社保協事務局長 藤本ようこ氏

千葉県社保協事務局長 竹内敏昭氏

大阪で意見書が上がっている地域からの報告

吹田市、貝塚市、摂津市からの報告

参加費無料

□□□□□□□□

主催□大阪社会保障推進協議会メール□osakasha@poppy.ocn.ne.jp